

平成29年ゴールデンウィークにおける主な観光施設等の利用状況について

平成29年ゴールデンウィークに県内の主な観光施設・イベントを訪れた観光客の状況について、次のとおりまとめました。

調査目的： ゴールデンウィーク期間中の観光客の傾向を調査し、今後の観光振興施策や観光事業者の事業展開の参考資料とする。

調査地点： 県内主要観光施設、市町村イベント等 67地点

集計期間： 平成29年4月29日(土)～5月7日(日)の9日間

観光客数： 延べ約145万人(1日当たり16万1千人)

1日当たり：対前年比15,498人増、10.7%増

前年：145万人(10日間、1日当たり14万5千人)

1 概況

今年のゴールデンウィークは、晴れて気温が上昇する日が多く、期間全体で天候に恵まれ、多彩なイベントやお祭りが開催されるなど、県内外から多くの観光客で賑わい、県内の主な観光施設・イベント(67地点)を訪れた1日当たりの観光客数は前年比10.7%増加した。

日並びは4月29日の祝日(昭和の日)が土曜日だったため通常の週末と変わらなかったが、5月3日～7日が5連休となったため、特に3日～5日に多くの観光客が訪れた。

前年より1日少なかったが、天候に恵まれたことやイベントなどが好評であったため、小瀬スポーツ公園や笛吹川フルーツ公園、北口本宮富士浅間神社など、25の調査地点で前年を上回る人出があった。

また、3月に寒い日が多かったことなどで、開花が例年より遅れていた花々がゴールデンウィークに見頃を迎え、富士山とシバザクラの絶景や、フジザクラとミツバツツジの競演など、咲き誇る花々が多くの観光客を楽しませた。

1日当たりの入込状況の圏域別では、最も大きく伸びたのは峡東圏域の24.6%増であり、次に峡中圏域の20.4%増となった。

2 各圏域別の状況

別添資料参照

【峡 中】

- ・ 峡中圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日当たり前年比20.4%増となった。
- ・ 高校野球やJリーグが開催された「山梨県小瀬スポーツ公園」では、約71%増となり、多くの観光客が訪れた。
- ・ 新たにユキヒョウが仲間入りしたことや、ワラビーやビーバーの赤ちゃんが人気を集めた「甲府市立動物園」では、約14%増となった。

【峡 東】

- ・ 峡東圏域所在の対象施設等に係る観光客数は1日当たり前年比24.6%増となった。
- ・ 天候にも恵まれ「勝沼ぶどうの丘」では約45%増、イベントが好調であった「笛吹川フルーツ公園」では約26%増となった。
- ・ 企画展「ブータン」が好評であった「県立博物館」では約79%増となった。

【峡 南】

- ・ 峡南圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日当たり前年比2.2%減となった。
- ・ お祭りの開催日数を変更した屋外施設においては、観光客の減少がみられた。
- ・ 身延山周辺の自然に関する施設では、外国人観光客の割合が前年より更に増加したとの声が聞かれた。
- ・ 天候不順で山菜の発育遅れが心配された「南アルプス早川山菜祭り」は、天候にも恵まれ、前年並みを確保した。

【峡 北】

- ・ 峡北圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日当たり前年比8.1%増となった。
- ・ イベントが好調であった「山梨県フラワーセンター」では約19%、野菜や山菜の問合せが多かったとの声が聞かれた「道の駅はくしゅう」では約22%増となった。

【富士・東部】

- ・ 富士・東部圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日当たり前年比5.3%増となった。
- ・ 花の見頃とゴールデンウィーク期間
- ・ が重なった「富士桜ミツバツツジ祭り」では約30%増、例祭で多くの観光客が訪れた「北口本宮富士浅間神社」では約28%増となった。

【問い合わせ先】観光企画課 今泉・齊藤

直通 055-223-1556 (内線4102、4112)